

令和7年度 第1回健康づくり推進部会〔地域・職域連携推進協議会〕報告

【委員構成】

- 職域保健関係機関5名(須崎労働基準監督署、全国健康保険協会高知支部、須崎地域産業保健センター 須崎商工会議所、土佐くろしお農業協同組合)
- 保健医療関係団体4名(高岡郡医師会、高知県薬剤師会高陵支部、くぼかわ病院、高知県歯科衛生士会 西部支部)
- 住民代表2名(管内健康づくり婦人会連合会長、NPO 法人くぼかわスポーツクラブ副会長)
- 地域保健関係機関5市町(須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町)

■各委員からの報告（課題・今後の取組等）

健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進	生活習慣病予防に向けたアプローチの強化 ポピュレーション	職域保健	<ul style="list-style-type: none"> ・須崎労働基準監督署管内の定期健診の有所見率は、全国・高知県より高い。 ・被扶養者の特定健診受診率や被保険者の特定保健指導の実施率が低い。 ・特定健診受診率向上のためには、がん検診が同時に受けられるかがポイント。 ・職場の健康課題として、健診後の有所見割合が高い。要医療に該当する人が、病院を受診しないことが課題であり、対象者に役員名で受診勧奨するとともに、受診の有無（未受診の方にはその理由）のアンケートをとる。
		保健医療	<ul style="list-style-type: none"> ・薬局で、2ヶ月に1回栄養士による栄養指導を実施。 ・病院に定期的に受診しているからという理由から、特定健診を受けていない住民がまだまだ多い。
		住民	<ul style="list-style-type: none"> ・職場や家庭での生活で責任が増し、ストレスからアルコール依存のリスクが高まるのではないかと。ストレス発散のためにも、会話をしたり、運動することがいい。
		地域保健	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の特定健診受診歴を分析し、対象者に応じた内容で圧着ハガキによる勧奨を実施。 ・保健指導をする際に、AUDIT(アルコール依存スクリーニング)を行い、高得点の方には、飲酒量が増加した時期などを聞き取り、飲酒する人の背景の分析や今後の支援の検討を行う。 ・各がん検診について、年代ごとの受診率を分析し、特に受診をしてもらいたい年代に向けて、対策を行っていく必要がある。 ・働く世代に対し、仕事終了後に受診ができるように「夜間健診」を実施
	血管病重症化予防対策の推進	職域保健	<ul style="list-style-type: none"> ・登録産業医と保健師との連携により、健診後のハイリスク者の重症化予防に取り組んでいる。健診結果から、産業医の指示で、保健師が事業所を訪問し、対象者と面談を実施。 ・早期の病院受診ができるように、対象者本人と事業所側に対し、説明と配慮を依頼。
		保健医療	<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧や糖尿病の基礎疾患がある方で、クレアチニン値が上がってきている場合は、早く治療し、重症化させないことが重要。 ・朝晩の血圧変動が大きいと動脈硬化に悪影響がある。 ・家庭血圧も確認しながら動脈硬化の程度を評価する。 ・糖尿病患者は、高血圧であることも多い。栄養士と連携し、減塩指導などを行っている。 ・診療の場のみでは、糖尿病患者の生活状況の把握や指導に限度があるため、地域のいろいろな職種の方と連携していきたい。 ・歯科医師会で糖尿病と歯周病の関係についてのリーフレットを作っており、診療で活用している。 ・退院後、血糖コントロールが悪くなる方も多く、服薬指導などの面で薬剤師とも連携できていくといいと思う。
		住民	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診、がん検診の受診率向上に効果的な地域の婦人会員による声かけに取り組んでいる。
		地域保健	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーや健診の場など、人が集まる場所で野菜摂取の啓発やヘルスメイトの協力で減塩料理等の試食を行っている。 ・高血圧予防について、働きざかり世代への周知が重要であると考えているので、国保被保険者だけを対応するのではなく、関係機関と連携し、事業所単位の働きかけが必要。 ・糖尿病重症化予防について、現在連携している機関との連携を強化し、新たに対象者が出てきたときにその医療機関との連携を図っていきたい。 ・夏場は脱水で腎機能が低下する人が多くなるので、啓発はとても大事だと思う。

令和7年度健康づくり推進部会の活動計画

■健康づくり推進部会〔地域・職域連携推進協議会〕(年2回開催)

日本一の健康長寿県構想(第5期)及びよさこい健康プラン 21(第5期)における県目標である「健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進」を目指し、部会内で活動内容の共有・検討を行い、協働して推進する

第1回 (7月31日)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の活動計画について ・関係機関が連携した健康づくりの推進について
第2回 (1月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度活動報告及び課題について ・令和8年度取組の方向性について

■活動計画

<p>1 生活習慣病予防に向けたポピュレーションアプローチの強化</p> <p>(1)生活習慣病予防の行動変容につながる取組の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知家健康チャレンジ、高知家健康パスポート等を活用した周知啓発の強化 <p>(2)地域と職域が連携した健康づくりの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職域関係者等の事業連携について検討及び実践 ・健康づくりに関心の低い者に対して生活習慣改善に向けた行動変容を促す取組の促進 ・市町の健康づくり事業の職域における活用・展開を促進 <p>(3)事業所での主体的な健康づくり(健康経営)の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理担当者サポート事業を活用した健康経営の取組促進 ・未介入の職業団体や小規模事業所に対し、健康経営を周知
<p>2 血管病重症化予防対策の推進</p> <p>(1)特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上対策の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診対象前世代や受診率の低い40～50歳代への受診勧奨の強化 <p>(2)高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重症化リスクの高い者への対応に向けた地域と医療の連携強化 <p>(3)循環器病対策(高血圧・たばこ対策)の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減塩や血圧管理に関する啓発チラシ等を活用した取組の推進 ・受動喫煙防止の周知と禁煙サポートの体制づくりの推進 ・壮年期の循環器病対策が、周知にとどまらず、行動変容(減塩・禁煙等)につながるような保健指導の充実